議会の動き

臨時市議会

臨時市議会が、一月二十四日開かれ、四議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

可決された議案

■財産の取得　総合体育施設建設用地（八万三千百四十一平方メートル・取得価格＝約六億九千八百八十万円）

■契約の締結　総合体育施設造成工事（第一工区・契約金額＝一億三千九百万円）

■市道の認定　みの口・田中線（千百五十八メートル）

■五十四年度一般会計補正予算　歳入、歳出にそれぞれ四千十八万一千円を追加、予算総額は六十七億四千五百六十万円です。

議会ひとくちメモ

請願と陳情

――市へ要望などする場合に、請願と陳情がありますが、違いはあるのですか。

請願は、国や地方公共団体（県・市・町・村）に対して希望を述べることをいいます。請願をする場合は、市議会議員の紹介が必要です。

陳情は、国や地方公共団体に対して、その実績を述べ、適当な措置を要望することをいいます。

請願・陳情とも、いつでも、どなたでもできます。趣旨、住所、氏名を記載し、提出者が押印して文書で、市議会議長（議会事務局）にお出しください。

請願と陳情は、実質的な意味あいからすると同じということがいえますが、議員の紹介を必要とする、必要としないが大きな違いといえます。

具体的な手続きなど詳しいことは、議会事務局（☎七三－二一一一㈹三二三）へおたずねください。

ひとくちばなし

田舎者の江戸見物

文…木下牛太郎
絵…伊藤栄一

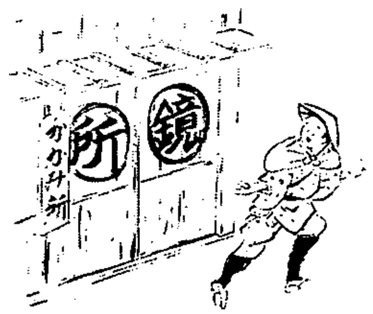
ある田舎者が、江戸見物に出かけましたてがんだ。

そこで、ある町内を通ったら、かがみ所（鏡所）という看板がかかっていたてがんだ。それを、かか見所とよんで、すぐ家へ帰ってきて、親に相談して

「今度、おれの嫁を見たててくる」というて行ったてがんだ。

もう一年もたって行ったのだから、店がかわっていて、ことしやみせん所とあった。そうするとその男は、ことしゃ、見せん所とよんで

「アー今年は見せないのだか。おれがせっかく来たのに、みせやがらない」と、しおしお帰ったてがんだ。



昔話

きつねの恩がえし

いまから約九十年も昔の話です。

いまの引越農免道路の前に、引越から高井に通じる四尺幅くらいの細い曲がりくねった道がありました。その道は、近郷の人が中の口川を蒸気に乗って新潟へ行くには、どうしても通らなければならない大切な道でした。

その道の引越よりに、大きな大きな柿の木林がありました。その林の中にきつねが住んでいて、夕方通る人を化かしては苦しませたので、近郷の人はこの道を通ることを怖がっていました。そのきつねは、引越住民にだけは絶対に悪さはしませんでした。

きつねは、よく部落に来て、鳩のわきで子ぎつねと日向ぼっこをしていることがありましたが、村の人は見て見ぬふりをしていました。

ある冬の大雪の年のことで、その日、部落で相談ごとがあって総代さんの家に集まりました。相談が終わって帰ろうと思い玄関に出ると、裏のおやじさんの新しい雪げたが片方ありません。みんなで捜したら、前の倉の高いぎょう（地業）の上に、一匹のきつねがこちらを見下ろしているではありませんか。そのきつねの横に、捜していた雪げたが置いてありました。裏のおやじさんが驚いて取りに行くと、きつねのいた横に雪なだれの崖穴があり、その中に一匹の子ぎつねが落ちていました。おやじさんは、その子ぎつねを上げてもらいたくて雪げたを持ってきたことをさとって、子ぎつねを上げてやりました。

すると二、三日後に、裏のおやじさんの家の流し口の雪の中に、大きな大きなカモが一羽、埋められてありました。それは、きつねが子どもを助けてもらったお礼に持って来て、埋めたのではないかとの話しです。

これは、引越の斉藤さんから寄せられた昔話です。

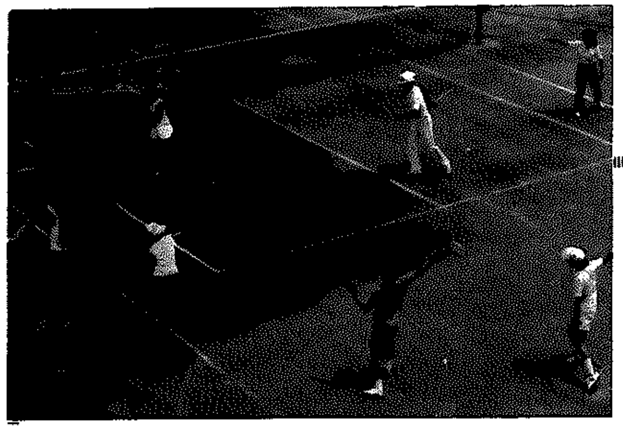
市内に残っている昔話をご存知の人は、企画財政課広報広聴係までお寄せください。

市民の広場

『街かど』

市民デスカッション

総合体育施設にひとこと


▲テニスの講習を受けるママさんたち（婦人スポーツ教室から）

市では、総合計画に基づいて、昭和60年度までに総合体育施設を完成させるため、その準備に取り組んでいます。このほど、その用地買収が終わりました。場所は第一中学の西側で、総面積は89,515平方メートル――そこには、市民会館的な要素をもたせた総合体育館、陸上競技場、野球場、プール、テニスコートなどをつくる計画です。建設にあたっては、年次計画で行っていきます。

今回は、総合体育施設について、みなさんからいろいろお聞きしてみました。

【提言1】　仲間同志で野球チームをつくっているのですが、グランドの数が少ないんですよね。ぜひ立派な野球場を２～３面つくってください。もちろんナイター施設が完備されているものですが……。それに、人工芝なら最高ですよ。（会社員＝24歳）

【提言2】　お金はたくさんかかると思いますが、立派な施設を一日も早くつくってください。（主婦＝37歳）

【提言3】　とかく体育施設のようなものができると、学校関係の利用が多くなると思うんです。いまでも青年教育センターは、中学生のクラブ活動とかで、いつもいっぱいです。総合体育施設は、その辺のこともよく考えてほしいと思います。（会社員＝25歳）

【提言4】　できれば、体育施設を各地区に分散して建ててほしいんですが、無理のようですね。必要最小限のものではなくて、大きな施設をつくってください。（農業＝30歳）

【提言5】　専用の柔剣道場を、ぜひ建ててください。（自営業＝41歳）

【提言6】　いまは、ちょっとしたテニスブーム――でも、市内にテニスコートはあまりないですよね。それで、テニスコートを多くつくってください。それにナイター設備も忘れずにお願いします。（銀行員＝25歳）

『街かど』についての、意見要望などを、企画財政課広報広聴係までお寄せください。

市民文芸

川柳

自惚れが過ぎれば猿も木から落ち　吉川末吉
モンキーを真似て宴会盛り上り　山岡フミ
三遠のような子分のほしいボス　岡村清
サル山のボスが占めてる一等地　長井徳市
集団で猿が飛び込む年賀状　中村尚治
猿の母子を捨てる人の気が知れず　米野光雄
猿年に生まれた孫ですばしこい　成田吉子
ほどほどが腹にめでたい初春の餅　吉川彰
餅代をそっと手渡す母の愛　山崎甲
杵紅く染めて目出度い餅が出来　高橋祐四雄
ひと頃は齢の数ほど喰べた餅　大井義雄
がむしゃらに生きてすりむく膝頭　今井七郎
新しい心と羽織で祝ぐ雑煮　保科盛広

俳句

焚火する海女に厳しき初仕事　西山了空
人日や詠める歓び競い合ふ　石田豊一
惜しそうに清書どんどの火に透かし　須戸義夫
民謡や唄に明暮る松の内　針貝静男
伊夜日子の初日映ゆる杉木立　中山義英
届きたる賀状庚申の一字のみ　西山静江
ねんねこの片掌拝みや初庚申　石田豊実
小正月遠来の児に雪積る　坪川桐太郎
雑煮煮る鍋かけ今年も始まれる　田中昭一
春光や開け放したる部屋の隅　栄原渓月
中年やさびし四人の松の内　真保富枝
蔵開き正月といふ日駆け去りつ　桜井裕子
寒梅のほころび初めて松の内　長井要平
静けさに小川のせせらぎ清らかに　長井セツ